

東日本大震災復興支援

食と農の映画祭

2011 in ひろしま

食べることは生きることです。食べものは、命そのものともいえます。3月11日の東日本大震災以降、わたしたちの国では、命を支える食べ物にいかんにか鈍感であったかを、あらためて痛感せざるを得ない状況が続いています。

大自然の警告はすさまじいものです。大地震に加えての放射能汚染！まったく唾然としつつ、涙する日々が続きます。放射性物質という途方もない「文明禍」の毒物が、4か月以上経ったいまも自然界に依然として放出され続けています。震災の20日後には福島からスイスまで、この放射性物質が偏西風に乗って運ばれていたというショッキングなニュースも流れています。“丸い地球はひとつながり”ということをご否定なしに実感させられる毎日がつづいています。もはや、私たちは、3月11日以前には戻れない。被災地の復興とそれを支援する私たちには、今こそ、命の

つながり・「食と農」を大切にしたい生き方が強く求められています。

「東日本大震災復興支援イベント・食と農の映画祭 2011 in ひろしま」で上映される作品を通じて、地球上の食べ物と自然の関わりやわたしたちが生きる日本という国の風土や食の文化、それらを支えるひとびとの営みに今一度思いをめぐらせていただくとともに、大自然の警告と「文明禍」による不幸な事態の取捨と次代への影響の回避に向けて、ひとりひとりが取り得る行動を考えていただければと思います。そして、この映画祭が、命とは何か、平和とは何かをあらためて考えるきっかけとなれば幸いです。

一昨年、昨年に引き続き、今回も多くの方にぜひご参加いただけるよう切に願っております。



3rd. FOOD & AGRICULTURE FILM FESTIVAL IN HIROSHIMA

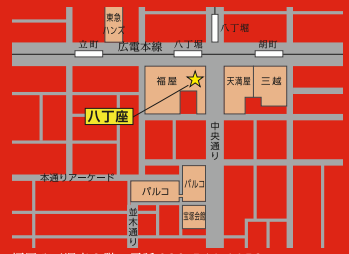
●がんばろう日本！

食と農の映画祭 2011 in ひろしま実行委員会 構成団体

- 広島県有機農業研究会、ひろしま合鴨水稲会、自然生態環境研究会
- 地産地消事業ネット広島、MOA自然農法広島県連合会
- NPO法人環・太田川、NPO法人広島EM普及協会、百姓や会
- 広島さいたら研究会、NPO法人よもぎのアトリエ
- NPO法人あいあいねっと、NPO法人ゆうきびと、広島なずなの会
- クレッシェン堂、もりメイト倶楽部 Hiroshima
- シネマキャラバン V.A.G、広島県環境保健協会 (オブザーバー)

※順不同

八丁座のご案内



福屋八丁堀店 8階 電話 082-546-1158

2011.7.30(土) - 8.5(金)

八丁座 広島市中区胡町 (福屋八丁堀店 8階)

- 1プログラム券 前売 1,000円 / 当日 1,300円
- 八丁座、サロンシネマ、シネツイン、デオデオ本店プレイガイド、福屋広島駅前店チケットサロン、アルパーク天満屋チケットサロンで前売券販売中
- 回数券 (5枚綴) 4,000円 (前売のみ) フリーパス 6,000円 (前売のみ)
- 回数券、フリーパスは八丁座、サロンシネマ、シネツインでのみ販売中
- 後援 広島県、広島県教育委員会、広島市、広島市教育委員会
- 協賛 JA 広島中央会、(株) 福屋、生協ひろしま、広島信用金庫、季刊誌「旬遊」、(有) グリーンブリーズ
- 協力 (株) 序破急
- 主催 食と農の映画祭 2011 in ひろしま実行委員会

特別企画
8月4日
(木)

『アンダンテ ~稲の旋律~』鑑賞会 + 新妻聖子ミニライブ
 全指定 S席 5,000円 A席 4,000円 B席 3,000円 立ち見 1,000円 (ライブのみ)
 ●前売券は八丁座で好評発売中
 特別協賛 JA 広島中央会、(株) 福屋

食と農の映画祭 2011 in ひろしま プログラム

7/30 (土)	フード・インク 10:05~	洋菓子店コアンドル 12:00~	やぎの冒険 14:05~	いのちの林檎 16:10~	トーク ライブ① 18:30~	ありあまるごちそう + 食と環境の世界アニメーション 19:00~
7/31 (日)	フード・インク 10:05~	トーク ライブ② 12:40~	こつなぎ 13:10~	やぎの冒険 15:25~	洋菓子店コアンドル 17:05~	いのちの林檎 19:10~
8/1 (月)	こつなぎ 10:05~	洋菓子店コアンドル 12:25~	いのちの林檎 14:40~	やぎの冒険 17:00~	トーク ライブ③ 19:00~	フード・インク 19:30~
8/2 (火)	ありあまるごちそう + 食と環境の世界アニメーション 10:05~	やぎの冒険 12:45~	フード・インク 14:30~	こつなぎ 16:30~	トーク ライブ④ 19:00~	洋菓子店コアンドル 19:30~
8/3 (水)	いのちの林檎 10:05~	ありあまるごちそう + 食と環境の世界アニメーション 12:25~	洋菓子店コアンドル 14:55~	フード・インク 17:10~	トーク ライブ⑤ 19:00~	やぎの冒険 19:30~
8/4 (木)	やぎの冒険 10:05~	フード・インク 11:50~	アンダンテ -稲の旋律- 15:20~	(特別企画) 新妻聖子 ミニライブ 17:25~	アンダンテ -稲の旋律- 18:20~	(特別企画) 新妻聖子 ミニライブ 20:25~
8/5 (金)	フード・インク 10:05~	いのちの林檎 12:00~	ありあまるごちそう + 食と環境の世界アニメーション 14:20~	やぎの冒険 16:50~	トーク ライブ⑥ 19:00~	洋菓子店コアンドル 19:30~

※トークライブは「食と農」の第一線で活躍されている方々を日替わりでお招きして、現場の声を聞き取る企画です。

フード・インク

FOOD, INC.
2008年・アメリカ
94分・ドキュメンタリー映画
監督/ロバート・クナー

アメリカの食品産業の現状に警鐘を鳴らし、第82回アカデミー賞長編ドキュメンタリー賞にノミネートされた注目作。普段口にしている食べ物物の生産過程を追う中で、大量消費と大量生産の時代に農業や畜産業が巨大な生産工場と化した現実や、食の市場を牛耳る一部の巨大企業や遺伝子組み換え食品など、アメリカの食事情の驚愕の実像が浮き彫りになる。



広島初公開

洋菓子店コアンドル

2010年・日本
115分・劇映画
監督/深川栄洋

評判の洋菓子店『コアンドル』を舞台にして、繰り広げられるパティシエを目指す若き女性のサクセスストーリー。周りに登場する様々なケーキが圧巻で、映画を見終わって、思わずケーキを食べたくなること請け合い。
出演/蒼井優、江口洋介、戸田恵子、加賀まりこ、ほか



やぎの冒険

2011年・日本
84分・ドキュメンタリー映画
監督/仲村暁悟

沖縄にはやぎを食べる文化がある。都市部では少なくなったが、やぎは今でも様々なところで飼われている。その姿はまるでペットの様。舞台は沖縄、ヤンバル地方。食べられるために生まれて来たやぎは、はずみで逃げてしまう。ときにユーモラス、ときにシリアスな追いかけっこを通して、映画は食べることを意味を知る事で、少年の成長を描き出す。監督はなんと14歳。そのみずみずしい感性に驚かされる。



広島初公開

いのちの林檎

2010年・日本
120分・ドキュメンタリー映画
監督/藤澤勇夫

化学物質過敏症。農業や排気ガスなどに反応し、呼吸困難、昏睡、電磁波過敏などの症状が表れる重症患者が日本国内には70万人を超えたとわれている。映画は、重症患者の一人、早苗さんの日常を追いかける。映画は食べるもののほか、どうあるべきかを問ひかける。製作は広島県呉市出身の馬場民子。



ありあまるごちそう

WE FOOD THE WORLD
2005年・オーストラリア
96分・ドキュメンタリー映画
監督/エルヴィン・ヴァーゲンホーファー

私たちの食べ物はどこから来て、どこへ行くのか? 大量生産により、見えなくなった流通と、その先にある飢餓という現実。徹底した利益追求とコスト削減が生んだ流通グローバル化が、世界の需要と供給のバランスを大きく崩し、富ある国と貧しい人々の格差が刻一刻と広がっていく。フランス・スペインなど世界各国で撮影を敢行。国連で活躍する飢餓問題の第一人者ジャン・ジグレル教授や世界最大の食品会社をはじめ、漁師・農家・畜産業者を徹底取材した食のロードムービー。



広島初公開

食と環境の世界アニメーション

ペンギンのおうちはどこ?
(2008年・スイス・9分・セリフなし)
ミー・トリックス
(2006年・アメリカ・11分・日本語吹き替え)
アトグアトグ
(2004年・フィリピン・6分・日本語字幕)
おとなりさんとわたし
(2006年・ベルギー・8分・セリフなし)

『ペンギンのおうちはどこ?』 南極の水が全て溶けてしまったため、他所に住処を探さなければならなくなったペンギンがスイスの永久氷河を目指す。が、スイスの手強い入国管理官がなかなか入国を認めしてくれない。あの手この手でやっと入国できたものの、永久氷河は、なんとと緑豊かな平原に! (第17回子どもアース・ビジョン賞)



『ミー・トリックス』 美しい農場に住む豚のレオの前に、ある日、牛のムーフェイスが現れる。そこから、農場の真実を解き明かすレオの冒険が始まるのだった。世界中で大ヒットしたアメリカ映画のパロディ。話題となったドキュメンタリー映画『いのちの食べ物』のアニメ版とも言える作品。(第16回子どもアース・ビジョン賞)



『アトグアトグ』 エイリアンがある星を侵略し、その星の固有生物の"アトグ"を食い尽くした。その結果、自らもアトグを天敵とする昆虫の群れに食べられてしまう。大量消費文明を皮肉ったアニメーション。(第14回子どもアース・ビジョン賞)



『おとなりさんとわたし』 エコロジカルなアリと無頓着なセミは、お隣さん。ある寒い朝、セミの家は水も電気も止まってしまい…。(第15回子どもアース・ビジョン賞)

こつなぎ

1960年~2009年・日本
120分・ドキュメンタリー映画
監督/中村一夫

日本人が山と疎遠の暮らしを続けて、何年になるでしょう。この映画『こつなぎ』は、東北の百姓の人たちが、山とともに生きるための戦いの記録である。3人のジャーナリストが約50年前に取材した膨大な記録を通して、埋もれさせてはならない日本の暮しの在り方を私たちに問ひかける。"人は自然とのつながりなしでは、生きていけない"というあたりまえのことを、改めて考えさせる山を巡る百年物語。



広島初公開

特別企画

新妻聖子主演映画

『アンダンテ~稲の旋律~』鑑賞会 + 新妻聖子ミニライブ

8月4日(木)

- ①『アンダンテ~稲の旋律~』15:20~ + ミニライブ17:25~
- ②『アンダンテ~稲の旋律~』18:20~ + ミニライブ20:25~

全指定席

S席 5,000円

A席 4,000円

B席 3,000円

ライブのみ立ち見あり 1,000円

前売り券は八丁座で好評発売中!
よい席はお早めに



アンダンテ ~稲の旋律~

2010年・日本・108分・劇映画・監督/金田 敬
主人公・千華(ちか)が、めぐり逢った人々とのつながりの中で、失われた心を取り戻していく「人間再生」の物語。現代日本が抱える「ひきこもり」問題や、危機迫る食料自給率問題を鋭く描く。映画初出演にしてヒロインに抜擢された新妻聖子が家族や他人との関係性に葛藤を抱える女性という難しい役を熟演。
出演/新妻聖子・寛利夫・秋本菜緒美・松方弘樹、ほか

にいづま・せいこ(本名)---1980年10月8日生まれ、愛知県稲沢市祖父江町出身。11才からの7年節をタイで過ごした帰国子女。バンコクのインターナショナルスクール(ISB)を卒業後、上智大学法学部国際関係学科に入学。大学在学中に出演したライブで芸能事務所にスカウトされ、芸能活動を開始。2003年夏、5000倍のオーディションを勝ち抜きミュージカル『レ・ミゼラブル』エポニー役で初舞台。翌年、超大作ミュージカル『ミス・サイゴン』でヒロインのキム役で大抜擢。歌手としては2006年にポニーキャニオンよりCDデビュー。今までにリリースされた3枚のシングルは、全てTVドラマのタイアップ曲。昨年、初のオリジナルアルバム『アンダンテ』を発表。舞台上、ライブにと精力的に活動を展開中。